

# 発掘調査を支える方々にインタビュー!

国指定史跡

(茨城県結城市大字矢畑・上山川地内)

## 結城廃寺跡

## 附結城八幡瓦窯跡



市生涯学習課 文化係  
☎ 32-1931

### 発掘・整理作業員

遺構や遺物を探す「発掘調査」だけでなく、出土品を整理してその実態を把握する「整理調査」も大切な作業のひとつ。地域住民や学生、地元の中学生など多くの方に協力いただき、継続的に調査を行っています。

#### 発掘 作業の一例



土を手作業で掘り下げ、遺物を検出します。



遺物が出土した場所や様子を測り、図面に記録していきます。

#### 整理 作業の一例



大きさや天地などを計測し、方眼紙上に記録していきます。



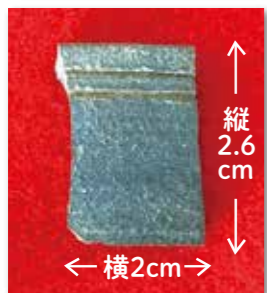
遺物に紙を巻き、インクを押し付けて表面の模様や記号などを写し取ります。

結城廃寺跡の遺物は学術的にも貴重なものばかり。その特徴や記録をしっかり後世に残せるよう、丁寧に作業しています。



作業員 川又さん

### 朝鮮半島由来? の土器が出土



破片の上部に2条の線が平行に刻まれている

結城廃寺跡の発掘調査では、多量の瓦とともに土器も出土しています。特に、今年度の調査において、土器の口の部分（口縁部）の外側に2条の線が平行に刻まれた、珍しい土器が出土しました。

この土器は、朝鮮半島で製作された「新羅系土器」と呼ばれる土器に似ています。茨城県での出土例は非常に少なく、大変貴重な発見です。

### 上山川小学校

上山川小学校では毎年6年生が結城廃寺跡について学習し、在校生に発表することで後輩に想いを引き継いでいく伝統があります。地域の誇る歴史を学んだ子どもたちが将来、調査員や学芸員として更なる歴史をひも解いていくことが期待されます。

同校では毎年度末に、6年生から5年生へ結城廃寺跡の学習についての「引継ぎ式」を行っており、子どもたちの“学びのバトン”が脈々とつながっています。今年度の発表会は、10月の「創立150周年記念式典」で行われました。これまで学んだことを紹介するだけでなく、「授業参観で結城廃寺跡の発表をする」「新聞を作り地域の人たちに配る」など、もっと知ってもらうためのアイデアも提案した6年生。在校生や保護者、地域住民など多くの参加者を前に堂々と発表しました。



担当者の説明に熱心に聞き入る6年生



今年度の発表会の様子

### 結城廃寺跡への想いを6年生に聞きました!

機会があれば、実際に発掘作業の見学や体験などもしてみたいです。結城廃寺跡を知っている人がまだまだ少ないので、上山川以外の人にもぜひ学習や見学をしてもらい、いつか「結城といえば結城紬と結城廃寺跡」と言われるくらい有名になったら嬉しいです。



上山川小学校 6年 深谷 琉聖さん

### 今後の整備の流れ

この貴重な財産を未来に残していくため、保存活用計画に基づき、市民の皆さんと一緒に保存整備を進めていきます。

#### 保存活用計画 (R3~R18)

結城廃寺の保存、活用、整備、管理・運営体制の基本方針を定めています。

- 史跡を適切に保存し未来へ継承
- 教育、観光、地域活性化の資源として活用
- 出土遺物展示のためのガイダンス施設や案内板の整備、史跡公園として整備

#### 整備基本計画

保存活用計画に基づき、整備の基本方針となる計画を策定します。

保存活用計画で定められた基本方針を基に、史跡のもつ歴史的価値を高めるための、整備の基本方針を定めます。

#### 実施計画

整備基本計画を基に、具体的な整備を実施するための計画を策定します。

#### 保存整備

史跡公園としての整備を実施します。